氏　名　長純一

目指す石巻市のビジョン

市立病院の感染症専門医や在宅医療としての医師経験・市健康部包括ケアセンター長としての行政での経験を活かした、新型コロナ対策を行う。市立病院の感染症専門医や在宅医療を生かした、迅速なワクチン接種の普及など独自のそして日本一のコロナ対策の実現させる。また医療連携・医療介護連携など地域包括ケア推進に関わった経験から、各々の課題に総合的に対処し、特に介護現場を守ることで、医療・介護崩壊を防ぐとともに一日も早くコロナ渦を鎮める。市立病院を市民の病院に改革し牡鹿・雄勝・北上を守り、在宅医療日本一を２年で実現する。

課題へのマニフェスト (具体的な政策)

１．人口減少緩和の鍵である若者世代・女性に向けて

子育て支援を含めて女性の視点を重視。就労・結婚・出産・子育て・介護などライフサイクルに応じた総合的な支援を行う。特に就労時に人口が市外へ流出することが多く、それを防ぐため女性の就労支援が特に重要。特に、沿岸部の人口減少には、医療・介護の底上げが必須。

医療介護を生かして CCRC の検討や、災害など NPO を新型ふるさと納税で優遇することで誘致し、若者の移住をすすめる。サンファン号を保存するなど、郷土愛を育む。

２．暮らしやすいまちの実現に向けて

医療・介護・福祉・子育てをしやすい街を目指す。この領域は、女性の視点が重要であり、女性の意見を反映させやすい行政の仕組みを作る、女性のワーキンググループをつくり市政に反映などジェンダーバランスを強く意識する。市立病院の当初設立目的に沿った、在宅医療・地域医療を重視し、市内全域の医療へのアクセスを保証する。私立病院に小児科精神科を開設し、子育てや障害者の支援を行う。画期的なふるさと納税を創設し、市民活動や自治機能を高める仕組みを強化し、小規模多機能自治を推進する。市民との協働をすすめる。ICT の推進で効率化を行う。

３．誰もが稼げるまちの実現に向けて

言葉の解釈が難しいが、障害や高齢者などあらゆる人という意味だとすると、福祉の充実が必要かつ重要。女性の就労環境の改善が女性が稼げるために重要。女性の就労の四分の一が医療介護労働であるにも関わらず、特に介護就労率は宮城県が全国ワースト１であることから、福祉就労や介護労働の支援をすることが（子育て支援・就労支援・労働環境の改善など)、医療・介護を守ることにもつながり、また人口減少対策にもなる。また ICT を誰もが使えるように支援することで、販路を世界規模に拡大することが可能になるとともに、リモートワーク環境の整備にもなり、自宅から出にくい方も収入を得ることが可能となる。いのちを守る立場から、避難計画は極めて問題があり、それが解消されない限りは原発の再稼働に反対。